

東京ビル政連

東京ビルメンテナンス政治連盟
 発行責任者 梶山 龍誠
 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-12-5
 ビルメンテナンス会館
 TEL 03-3805-2950
 FAX 03-3805-7550

年頭所感

オリンピック・パラリンピックを通じて 業界の発展を目指します!



東京ビルメンテナンス政治連盟

理事長 梶山 龍誠

も、都議会自民党ビルメンテナンス業振興政策研究会のご協力をいただき、東京都の入札制度を品質重視の方向に進めます。

さらに官公庁だけでなく業界全体に、適切な労務費の設定が普及するよう、活動を強化してまいります。

また本年は、7月上旬に東京都知事選が予定され、年内には解散総選挙も想定されており、これらの選挙は、今後の業界の方向性に大きくかかわる重要な選挙でございます。当政連として、ビルメン業界に理解が深い候補者の支援活動を進めてまいります。

本年も当政連は、業界の発

新年おめでとうございます。本年は子年でございます。子年には、新しい生命や物事が始まるという意味がございます。当業界も人材不足、従事者の高齢化等の問題がございますが、AIやIoTの活用など、今までとは違う新しい管

理手法を導入することで課題を解決し、業界全体の発展を目指します。

本年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催年です。世界中から多くのお客様をお迎えすることになります。来日された方々が快適に過ごせる環境を提供すること、我々が持つ、建築物管理のノウハウやサービス品質の

高さを世界に発信する好機です。政治連盟としても、東京協会と連携し、会員の皆様をサポートしてまいります。

昨年6月に品確法が改正され、公共建築物の「業務品質の確保」と「担い手の育成・確保」の努力義務が追加されました。私どもが要望してきた「品質重視」の流れが、着実に前進しております。今後

第112回 令和2年 理事会・新年賀詞交歓会

東京ビル政連は1月15日、浅草ビューホテル(台東区西浅草)において「第112回理事会」を開催。評議員会の開催などを審議した。また同日、同ホテルで東京ビルメンテナンス協会(佐々木浩二会長)主催、東京ビル政連協賛により、「令和2年新年賀詞交歓会」が開催された。

第112回理事会は4階「吾妻」で開催。梶山龍誠理事長は「今年は、いよいよオリンピック・パラリンピックイヤーでございます。その直前の7月上旬には東京都知事選が予定されております。またオリンピックの後には解散総選挙があるという予想もございまして、いろいろ大変な年になろうかと思っておりますが、政連として一丸となって活動してまいります。よろしくご協力のほど、お願いいたします」と挨拶。

審議事項は、「第14回評議員会の開催」と「秋元司議員への対応」について。評議員会の開催は、梶山理事長が「第14回評議員会は2月25日、火



賀詞交歓会に先駆けて行われた理事会



祝辞を述べる高島都連幹事長



祝辞を述べる一戸全国協会会長



年頭にあたり挨拶に立つ佐々木会長



役員や来賓の皆様によって行われた鐘開き

については皆様のご意見をいただければと思います」と提案説明。来賓は提案通り、議長は前回議長に事務局が打診し、議事録署名人は事務局一任ということで承認された。

秋元司議員への対応については、横田英雄幹事長が提案説明を行い、「当面の間、秋元議員への支援を停止し、今後の推移を見守る」という対応方針が承認された。

報告事項としては、(1)全政連への役員の推薦について、(2)新年賀詞交歓会次第、鏡割りレイアウト、(3)11・12月の動きと今後の予定、(4)会員等の推移について、事務局が説明を行った。

令和2年新年賀詞交歓会では、4階「飛翔」で開催され、約370人が参集した。

東京協会の佐々木会長は、年頭の挨拶として、「今年は私どもがオリンピックをしつかり支えて、世界のお客様に日本の環境の良さ、清潔さをアピールできる最大の機



鐘開きの後、乾杯の発声をつとめる梶山副会長



野口副会長の首頭で三本締め



宇田川都議会自民党総務会長と都議会議員



橋本東京オリパラ担当大臣と国会議員

会でございます。皆様と力を合わせて私どもビルメンの力を世界に発信できればと思っておりますので、一層のご助力をお願いしたい」と要請。また、厳しい経営環境にも言及し、「人頼みではなく、自分たちがいかにかして窮地や問題を打開していくのが問われる年になると思います。東京協会は全国協会を支える中核的な協会として、業界のために成すべきことは何でもかをしつかりと見据えて活動を展開してまいります」と決意を表明した。

来賓の一戸隆男全国協会会長、高島直樹自由民主党東京都支部連合会幹事長の祝辞のあと、壇上に鐘開き用の3樽をセット。司会者が、橋本東京オリパラ担当大臣、中川元環境大臣、松本内閣委員長、太田元国土交通大臣、高島自民党都連幹事長、宇田川都議会自民党総務会長、内田自民党都連最高顧問など登壇者24名の名前を読み上げ、登壇者

は順次樽前へ。司会者の「よしよ、よしよ、よしよ」という掛け声に合わせて鐘開きを行い、梶山副会長の発声で「乾杯!」を唱和した。歓談を経て、業界の発展にご尽力をいただいている国会議員、都議会議員の紹介や祝電を披露。アトラクションとして琴の演奏もあり、野口副会長の発声で中締めとなった。